

「看護師のキャリア開発」に関する追跡調査



公益社団法人長野県看護協会
看護師職能委員会 I

「看護師のキャリア開発」に関する追跡調査

(公社) 長野県看護協会看護師職能委員会 I

調査目的：平成 27 年度長野県看護協会看護師職能委員会 I が企画した研修会「看護師が生き生きと働き続けられるための『キャリア開発』」の開催時、受講生は自らのキャリアやキャリア開発をどの様にとらえているか現状調査を実施した。(ホームページ公表済)

研修後 1 年が経過した時期に、研修受講を通して感じたこと、考えたことを、その後どのように具体的に活かしているか追跡調査を実施し、今後の委員会活動に役立てる。

調査対象：平成 27 年度長野県看護協会看護師職能 I 研修受講者 46 名

調査方法：対象者へアンケート用紙を配布し、回収した。

調査日：平成 28 年 12 月

回答者数：22 名 (回収率 47.8%)

調査結果：

1. 研修受講後自らが具体的に行動したこと

回答の抜粋

- ・患者の言葉に耳を傾け対話を多くし、患者の望むケアを心掛けている。
- ・ポジティブに物事をとらえ、与えられたポジションにおいてできることをやるようにした。
- ・「自分のやりたいことは何か」を、考えるようになった。
- ・「自分の強みについて」考える機会が増えた。
- ・スタッフ一人一人が「生き生きと働き続けられるためには」と改めて考えた。
- ・仕事をする上で、目標を設定すること、今の自分にできることを考えるようになり、仕事を楽めるようになった。
- ・面接や日常のコミュニケーションを通して、スタッフの思いを把握するようになった。

2. 研修の影響、その後の自らの行動を通して、キャリアについて現在考えていること

回答の抜粋

- ・仕事だけではなく、プライベートも含めた自分自身の生き方を磨いていきたい。
- ・受身的ではあるが、必要とされる場所で最善をつくしたい。
- ・偶然のことを大切にしたい。「出された椅子に座ること」も必要と感じている。
- ・その時々に出会う人、与えられた仕事に一生懸命向き合いたいと考えている。
- ・キャリアが長くなり漫然と働くのではなく、組織の中で自分をどう活かしていくか考えながら働いている。
- ・ポジティブなとらえ方により仕事にやりがいを持って、いい発見ができた。

3. この調査用紙(追跡調査)を手にして感じたこと、考えたこと

回答の抜粋

- ・「研修を受講して良かった」と、研修を思い起こした。
- ・研修を忘れていた。改めて考える機会になった。
- ・正直、思い出すのが大変だった。研修後も意識し続けることが大事と改めて思った。

- ・研修が看護を実践する上で1つの大きな出会いであり、いろいろ考えるきっかけとなった。
- ・忘れていたことも多かったが、研修を振り返るきっかけとなった。
- ・あの時の研修が活かされて今の自分があって、新たな活動をしていることに驚いている。

まとめ：

各質問の回答から得た要素は、対象者個々の考えや思いが表現された貴重な言葉と受け止め、委員会ではあえてカテゴリー化せず、意見交換を行いまとめた。

- ・研修受講後、それぞれの立場で具体的な行動に移している人がいる。キャリアに関して、日常で考える機会はなく、研修受講が貴重な機会となると共に、前向きに考えている様子がわかる。
- ・中堅層の受講者が多く、一度立ち止まり考える機会となった。
- ・今回の追跡調査のタイミングで、忘れていた研修受講を思い出したといったコメントも複数あり受講後のフォロー体制については今後の課題である。
- ・全ての研修において、研修企画側が追跡を行うことは容易ではない。研修成果がより顕著となる対応が求められる。
- ・受講後のスタッフを受け入れる組織や看護管理者は、個人面接等でのフィードバックや、定期的に研修受講について確認する等、研修を活かす具体的な体制がさらに求められる。
- ・研修受講がゴールとしてとらえられる傾向がみられるが、研修受講は大切な機会であり、キャリア形成の偶然ととらえると、その後のキャリアの積み重ねに少なからず影響を与えているものと考えられる。
- ・様々な研修が企画され、専門職として受講の機会も多いが、自らの動機付けも重要である。
- ・昨年の調査では、80%以上の方が将来も働きたいと回答している。今回の追跡調査で、改めて将来を考える機会となれば良い。

研修を企画する委員会として

- ・多くの会員に関心を持ってもらえる企画が望まれる。ニーズの一致が重要である。
- ・職能委員会が企画する研修の意義を再確認し、企画の意図を会員に伝えるための工夫をする。
- ・すべての研修において追跡調査を実施することは難しいが、企画側として研修目的によっては、必要性の検討も視野に入れる。
- ・従来、研修効果の追跡の経験はなく、効果分析の機会もなかった。企画研修のテーマによっては、このような機会も作りながら、研修評価を多角的に実施することも検討する。また、このような評価をすることで、委員のモチベーションにつながる。
- ・今回の調査結果並びに委員会での意見交換を今後の研修企画に活用し、委員会の事業概要にもある、看護師の職能意識を高め、看護の質向上に、委員会としても努めたいと考える。

看護師のキャリア開発に関する追跡調査

(公社) 長野県看護協会看護師職能委員会 I

平成 27 年度、看護師職能委員会 I では、勝眞久美子氏を講師にお招きし、「生き生きと働き続けられるためのキャリア開発」をテーマに研修会を開催しました。終了後のアンケート結果は、協会ホームページで公表し、委員会として今年度は、追跡調査を予定しています。

昨年受講された皆さんが、研修受講を通して感じたこと、考えたことを、その後どのように具体的に活かしているか知ることで、委員会活動の参考にしたいと考えています。なお、この調査を通じて得た情報については、まとめの段階で個人が特定できないように配慮し、使用後のデータは適切な方法で処理します。また、調査結果については協会ホームページにおいて公表します。

回答にあたり、昨年のアンケート結果の「感じたこと、考えたこと」の抜粋を資料として記載しています。回答後は添付の封筒に入れ、お手数ですが各自で投函をお願いします。対象者が限られていますので、お忙しいところ恐縮ですが、是非協力をお願いします。

締め切り 12月1日

該当する番号に○をつけてください。

- | | | | | | |
|-------------|-----------|-------------|-------------|------------|--------|
| 性別 | 1. 男 | 2. 女 | | | |
| 結婚 | 1. 既婚 | 2. 未婚 | | | |
| 資格 | 1. 保健師 | 2. 助産師 | 3. 看護師 | 4. 准看護師 | 5. その他 |
| 看護職としての経験年数 | 1. 5年未満 | 2. 5～10年未満 | 3. 10～20年未満 | 4. 20年以上 | |
| 看護職としての最終学歴 | 1. 専門学校 | 2. 短大 | 3. 4年制大学 | 5. 大学院 | |
| 勤務場所 | 1. 病院 | 2. 施設 | 3. 医院、診療所 | 4. その他 () | |
| 勤務病院的病床数 | 1. 200床未満 | 2. 200～299床 | 3. 300～399床 | 4. 400床以上 | |

以下の3項目について自由に記載してください。

1. 研修受講後自らが具体的に行動したこと
2. 研修の影響、その後の自らの行動を通して、キャリアについて現在考えていること
3. この調査用紙を手にして感じたこと、考えたこと（何でも良いので自由に記載してください）

(参考資料)

平成 27 年度職能研修終了後アンケート抜粋 (受講して感じたこと、考えたこと)

- ・自分がどう生きていくか日々考えながら業務に励みたい。
- ・自分たちの看護師のキャリアを語り合う機会を作りたい。
- ・自らをアピールできるスタッフを育成することの重要性を学んだ。
- ・自分の強みを活かした看護を実践したい。
- ・ポジティブにとらえるか、ネガティブにとらえるかは自分次第である。
- ・自分の道、方向性が何となくわかった。
- ・自分の思いを伝えることが大切である。
- ・偶然の出来事に対し最善を尽くすことが、今後のキャリアにつながると学んだ。
- ・必要とされる人になりたい。
- ・生き生きと働き続けられるために、自分が目標を定め達成すること。